

ぼうさい通信 Vol. 9



平成 30 年 3 月 16 日発行

今月のテーマ「今年度のまとめ・次年度に向けて」 熊本県立湧心館高等学校

早いもので今年度もあとわずかになりました。この1年はどうでしたか？復旧や復興が少しずつ進み、景色や景観が変わった所もあれば、まだまだ仮設住宅も立ち並び生活も苦しい方々も多いかと思います。それでもみんなで前を向いてがんばっていることでしょう。

湧心館高校でもこの1年は防災教育に力を入れてきました。毎月発行している「ぼうさい通信」をはじめ、全日制の生徒会はHUG（避難所運営ゲーム）研修会に参加し、防災マップも作成しました。避難訓練においても三課程合同で実施。スモール訓練を3回実施したりと、学校内において2次避難までの流れを訓練してきました。

今年度は大きな地震もなく、その点では少し平穏な毎日を過ごすことができているかと思います。ただ、これから先も大きな地震が発生する可能性があり、いついかなる時でもしっかりと行動できるようにしておかないといけません。こういう時だからこそ、各家庭で非常持ち出し品を準備したり、非常時の約束事などを決めておいてもいいかと思います。

4月からの新年度に向けて、いつ起こるか分からない震災を考えて、少しずつでも色々な準備を進めていってもいいのではないのでしょうか。

今年1年、防災についての振り返り

全日制生徒会長 2年普通科1組 池田 真弥

この1年間を振り返ると、私は去年の8月23日に熊本商業高校で行われた避難所運営ゲーム研修会に参加したことで、防災に関する知識や意識が高まったように思います。その研修会は東稜高校・熊本商業高校の生徒と合同で行われました。福島県の福島大学から本多環先生を講師としてお招きし、防災についての自分のイメージや考え方を一人ひとり発表したり、他校の生徒と協力し意見交換をしながら避難所を運営するシミュレーションをしました。これらを通して、色々な人の意見や考え方を聞くことで防災に関する考え方の幅が広がりました。また、避難所の運営を私たち高校生の視点でシミュレーションして初めて気づき、避難所内の場所の分け方に工夫が施されていることを知りました。この研修会は私にとっても有意義な経験となり、これから先、生きていく上でも有用なものになると思えました。

「防災は自然災害を防ぐことではなく、被害が大きくなるのを防ぐことです。」

この言葉は講師の本多先生がおっしゃっていたことです。自然災害を非日常だと切り離すのではなく、いつ起きてもおかしくないという心構えで普段から備えておくことで、もし災害が起きても大きな被害を防ぐことができるのだと思います。私は貴重な経験をしたこの1年間を糧とし、これからも防災に関する知識や思考を深めていきたいと思っています。